



平成23年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年12月1日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 サガミチェーン

コード番号 9900 URL <http://www.sagami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小塚 照男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 伊藤 修二

TEL 052-771-2126

四半期報告書提出予定日 平成22年12月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第3四半期の連結業績(平成22年1月21日～平成22年10月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第3四半期	14,950	△10.6	△340	—	△313	—	△1,090	—
22年1月期第3四半期	16,720	—	△422	—	△395	—	△1,530	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第3四半期	△44.72	—
22年1月期第3四半期	△62.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年1月期第3四半期	16,270	10,196	62.6	417.55
22年1月期	17,049	11,519	67.5	471.77

(参考) 自己資本 23年1月期第3四半期 10,181百万円 22年1月期 11,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年1月期	—	0.00	—		
23年1月期(予想)				0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年1月21日～平成23年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,250	△8.9	0	—	30	—	△890	—	△36.48

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年1月期3Q	24,972,784株	22年1月期	24,972,784株
② 期末自己株式数	23年1月期3Q	588,393株	22年1月期	586,697株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年1月期3Q	24,385,118株	22年1月期3Q	24,390,013株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国向け輸出の拡大や経済対策打ち切りによる駆け込み需要等により、緩やかではありますが景気回復基調となりました。一方、国内消費におきましては、記録的な猛暑等による消費の嵩上げ効果は見られるものの、国内景気や雇用環境の先行きに対する不透明感は拭えず、消費支出が持続的に改善するには至っておりません。

外食産業におきましては、所定外労働時間の増加等を背景に勤労収入は改善しているものの、外食支出に改善は見られず依然、厳しい状況が続いております。また外食に対する、お客様の低価格志向は定着しており、業界全体で価格競争の様相を呈しております。

このような環境のもと、当社グループは、劇的に変化する環境に対応すべく中期経営計画を策定し「お客様の支持と利益の最大化」をテーマに「①サガミ業態の再構築」「②業態ポートフォリオの見直し」「③経営基盤の強化」を積極的に取り組んでまいりました。

主力の和食麺類部門では、前期に引き続き経費削減計画を策定し、固定経費を削減する一方、全社販売促進企画として「創業40周年 夏の大感謝祭」「初夏の大感謝祭」等を実施いたしました。また、お客様が組み合わせを選べるメニューの充実や価格帯の幅を広げた、秋冬メニュー政策を実施したのに加え、「素材厳選 秋のおもてなし」「素材厳選 初夏のおもてなし」「天然 厳選素材 三河湾産あなご」等の料理フェアを開催いたしました。さらに、ご家族のハレの場をご利用して頂けるよう「母の日御膳」「父の日御膳」「敬老の日御膳」も販売いたしました。これらの取り組みにより、既存店客数は前年同期比 0.6%減と改善基調にあるものの、客単価が 1.9%減となり、既存店売上高は前年同期比 3.3%減となりました。

店舗関係では、業態転換のため3店舗（半田店、川越店、三好店）を閉鎖いたしました。

セルフサービス方式のどんどん庵部門におきましては、全店販売促進企画「どんどん庵祭り」を4回実施いたしました。新規出店を1店舗（稲沢平和町店）、閉鎖を6店舗（ピアゴ大曾根店、四日市松原店他）行いました。

その他の部門では新業態として、うどんを主体とした大型セルフ店「製麺大学」を開発し6店舗（四日市生桑店、岐阜加納店、知立店他）を出店したのに加え、中国上海市で展開する盛賀美1店舗、フランチャイジーの試験店4店舗を開店いたしました。また、あいそ家3店舗の業態転換も実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 14,950百万円（前年同期比 10.6%減）となりました。経費削減計画等により、販売費及び一般管理費を前年同期比 1,367百万円削減いたしました。既存店売上高が前年を下回ったこと等により、営業損失は 340百万円（前年同期は422百万円の営業損失）、経常損失は 313百万円（前年同期は 395百万円の経常損失）を計上することとなりました。また、減損損失等により特別損失を 798百万円計上したことにより 1,090百万円の四半期純損失（前年同期は 1,530百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、16,270百万円と前連結会計年度末比778百万円の減少となりました。流動資産は前連結会計年度末比410百万円減少し2,986百万円、固定資産は368百万円減少し13,283百万円、流動負債は前連結会計年度末比1,325百万円減少し2,899百万円、固定負債は1,869百万円増加し3,174百万円、純資産は1,322百万円減少し10,196百万円となりました。

(キャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて101百万円減少し、2,531百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は353百万円(前年同期は311百万円の使用)となりました。支出の主な内訳は税金等調整前四半期純損失が998百万円、法人税等の支払額が125百万円であり、収入の主な内訳は減損損失が469百万円、減価償却費が387百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は532百万円(前年同期は350百万円の使用)となりました。支出の主な内訳は有形固定資産の取得による支出が646百万円、店舗撤去による支出が202百万円であり、収入の主な内訳は有価証券の償還による収入が200百万円、差入保証金の回収による収入が73百万円でありませ

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は798百万円(前年同期は352百万円の使用)となりました。収入の主な内訳は長期借入による収入が2,150百万円、短期借入金の純増額が30百万円であり、支出の主な内訳は社債の償還による支出が1,000百万円、長期借入金の返済による支出が369百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、第2四半期連結累計期間の実績及び直近の趨勢を勘案したうえで、平成22年8月23日に平成23年1月期(平成22年1月21日～平成23年1月20日)の業績予想数値の修正を公表いたしました。

売上高につきましては、主力業態サガミの既存店売上高を前年同期比3.1%減で見込んでいる事に加え、前期末に閉鎖した店舗の売上高が減少するため、前年同期比8.9%減の20,250百万円を計画しております。売上原価率は前年同期比0.1%ポイント低下の31.2%を見込み、販管費におきましては、前期末の店舗閉鎖による経費減額や経費削減計画の効果を見込み前年同期比1,784百万円減額の13,930百万円を計画しております。

これにより、営業利益は前年同期比453百万円増益の0百万円、経常利益では前年同期比456百万円増益の30百万円を計画しております。なお、当期純利益におきましては、減損損失等による特別損失を920百万円見込むことから、890百万円の当期純損失を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ・ 固定資産の減価償却費の算定方法

連結子会社においては、定率法を採用している資産について、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

- ・ 資産除去債務に関する会計基準の適用

「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）が、平成22年3月31日以前に開始する連結会計年度から適用できることとなったことに伴い、第1四半期連結会計期間から、同会計基準及び同適用指針を適用しております。

これにより、営業損失、経常損失が7,542千円増加し、税金等調整前四半期純損失が279,190千円増加しております。また、これらの会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は317,938千円であります。

- ・ 表示方法の変更

四半期連結キャッシュフロー関係

前第3四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「店舗撤去による支出」は重要性が増加したため、第1四半期連結会計期間より区分掲記することといたしました。なお、前第3四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「店舗撤去による支出」は33,088千円であります。

3 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年10月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,340,968	2,542,036
受取手形及び売掛金	62,770	79,042
有価証券	220,835	371,503
商品及び製品	71,632	75,011
原材料及び貯蔵品	146,487	145,874
その他	143,865	183,649
貸倒引当金	△15	△11
流動資産合計	2,986,543	3,397,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,806,624	2,905,963
機械装置及び運搬具(純額)	300,973	323,516
土地	6,376,902	6,436,519
その他(純額)	174,221	99,233
有形固定資産合計	9,658,722	9,765,233
無形固定資産	155,800	117,600
投資その他の資産		
投資有価証券	1,098,973	1,320,292
差入保証金	1,789,716	2,107,728
その他	591,421	596,751
貸倒引当金	△10,734	△255,312
投資その他の資産合計	3,469,377	3,769,459
固定資産合計	13,283,900	13,652,293
資産合計	16,270,443	17,049,399
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	486,212	621,324
短期借入金	430,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	517,540	326,000
1年内償還予定の社債	—	1,000,000
未払金	945,019	1,135,424
未払法人税等	71,490	117,990
賞与引当金	101,787	44,753
店舗閉鎖損失引当金	38,592	281,640
その他	308,516	297,881
流動負債合計	2,899,158	4,225,015

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年10月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日)
固定負債		
長期借入金	2,456,740	867,800
長期未払金	200,551	281,583
退職給付引当金	7,704	7,802
資産除去債務	317,938	—
その他	191,727	147,757
固定負債合計	3,174,662	1,304,943
負債合計	6,073,821	5,529,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	7,256,905	7,256,905
利益剰余金	△2,613,480	△1,523,058
自己株式	△565,805	△564,900
株主資本合計	10,381,141	11,472,467
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△168,329	50,286
為替換算調整勘定	△31,051	△18,011
評価・換算差額等合計	△199,380	32,274
少数株主持分	14,862	14,697
純資産合計	10,196,622	11,519,439
負債純資産合計	16,270,443	17,049,399

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)
売上高	16,720,054	14,950,700
売上原価	5,226,352	4,742,287
売上総利益	11,493,701	10,208,412
販売費及び一般管理費	11,915,872	10,548,704
営業損失(△)	△422,170	△340,291
営業外収益		
受取利息	12,900	8,685
受取配当金	13,004	13,968
受取保険金	7,651	11,430
助成金収入	—	19,634
雑収入	22,198	26,735
営業外収益合計	55,754	80,454
営業外費用		
支払利息	24,041	31,141
雑損失	5,255	22,099
営業外費用合計	29,296	53,241
経常損失(△)	△395,712	△313,079
特別利益		
固定資産売却益	4,863	7,502
貸倒引当金戻入額	5,674	26,871
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	43,767
事業譲渡益	—	16,190
受取保険金	—	15,353
その他	800	3,173
特別利益合計	11,337	112,858
特別損失		
固定資産売却損	—	5,969
固定資産除却損	27,209	25,217
投資有価証券売却損	630	—
減損損失	769,637	469,662
店舗閉鎖損失	99,444	28,118
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	268,532
その他	6,372	1,226
特別損失合計	903,293	798,727
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,287,669	△998,948
法人税、住民税及び事業税	79,733	68,125
法人税等調整額	162,649	22,263
法人税等合計	242,383	90,388
少数株主利益	405	1,084
四半期純損失(△)	△1,530,457	△1,090,421

【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月21日 至平成21年10月20日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月21日 至平成22年10月20日)
売上高	5,777,453	5,323,841
売上原価	1,807,250	1,674,438
売上総利益	3,970,202	3,649,402
販売費及び一般管理費	4,015,301	3,630,506
営業利益又は営業損失(△)	△45,098	18,895
営業外収益		
受取利息	3,005	2,379
受取配当金	187	262
受取保険金	1,684	1,777
助成金収入	—	749
雑収入	6,873	5,620
営業外収益合計	11,750	10,788
営業外費用		
支払利息	7,616	12,705
雑損失	179	4,869
営業外費用合計	7,796	17,574
経常利益又は経常損失(△)	△41,143	12,109
特別利益		
固定資産売却益	—	1,022
貸倒引当金戻入額	4,083	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	4,161
受取保険金	—	6,353
その他	—	2,984
特別利益合計	4,083	14,523
特別損失		
固定資産除却損	4,971	2,363
減損損失	37,482	95,828
店舗閉鎖損失	22,639	12,049
その他	△20	137
特別損失合計	65,074	110,379
税金等調整前四半期純損失(△)	△102,135	△83,747
法人税、住民税及び事業税	26,056	22,118
法人税等調整額	△879	3,038
法人税等合計	25,177	25,156
少数株主利益	399	690
四半期純損失(△)	△127,712	△109,594

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,287,669	△998,948
減価償却費	420,260	387,754
減損損失	769,637	469,662
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	268,532
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,668	△24,583
賞与引当金の増減額(△は減少)	137,620	57,033
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△43,767
受取利息及び受取配当金	△25,904	△22,653
支払利息	24,041	31,141
固定資産売却損益(△は益)	△4,863	△1,532
固定資産除却損	27,209	25,217
売上債権の増減額(△は増加)	18,703	16,272
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,500	2,765
仕入債務の増減額(△は減少)	△142,068	△135,111
未払金の増減額(△は減少)	△105,466	△181,376
その他	70,475	△14,517
小計	△111,193	△164,110
役員退職慰労金の支払額	△82,100	△51,910
利息及び配当金の受取額	22,378	20,291
利息の支払額	△22,726	△31,880
法人税等の支払額	△117,578	△125,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	△311,219	△353,537
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150,668	—
定期預金の払戻による収入	110,020	—
有価証券の償還による収入	100,000	200,000
有価証券の売却による収入	—	50,250
有形固定資産の取得による支出	△379,802	△646,942
有形固定資産の売却による収入	9,704	12,321
投資有価証券の取得による支出	△227,559	△1
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
投資有価証券の売却による収入	11,830	231
差入保証金の差入による支出	△15,138	△37,960
差入保証金の回収による収入	75,388	73,655
店舗撤去による支出	—	△202,648
その他	16,078	19,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	△350,147	△532,042

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年10月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年10月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	30,000
長期借入れによる収入	—	2,150,000
長期借入金の返済による支出	△384,762	△369,520
社債の償還による支出	△10,000	△1,000,000
自己株式の取得による支出	△7,794	△904
リース債務の返済による支出	—	△10,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	△352,556	798,863
現金及び現金同等物に係る換算差額	△766	△14,612
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,014,690	△101,329
現金及び現金同等物の期首残高	3,773,711	2,633,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,759,020	2,531,803

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。